



The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 2-7, HARUOKA, 1CHOUME CHIKUSA-KU, NAGOYA, 464-0848 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2022/2023)

2022 ~ 2023 3 月号 (No914)

- 国 際 会 長 : 輝かそう、あなたの光を
- アジア太平洋地域会長 : 新しい時代とともに、エレガントに変化を
- 西 日 本 区 理 事 : 原点を知り将来に生かす (立ち上げれワイズモットーと共に)
- 中 部 部 長 : 明るく 清く 美しく 一よき隣人として (Befriending)
- 名古屋クラブ会長 : empathy(エンパシー)共感する力を高めよう (他者の靴を履いてみる)

3 月例会プログラム

と き : 2023 年 3 月 14 日 (火) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.

と ころ : 名古屋 YMCA ・ ZOOM

司 会 平野 実郎 君
 開会宣言 会 長 戸田 真二 君

ワイズソング

聖書朗読・祈祷 加藤 明宏 君

プログラム : 高崎 賢一 氏

「災害ボランティアの視点から見た被災地の現状と防災対策」

ハッピーバースディ (今月はいません)

閉会宣言

会 長 戸田 真二 君

例会での食事はありません。ZOOMでの出席は可。

第 2 例 会

と き : 2023 年 3 月 20 日 (月) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.

と ころ : Zoom

プログラム : 下半期プログラム その他

※今期第二例会の曜日が変更になっています。ご注意ください。

4 月号 原稿担当者

巻頭言 川口 恵さん 3月第一例会レポート 戸田 真二君

会 長 戸田真二 書 記 川本、深谷
 副 会 長 加藤明宏 会 計 平野、谷川
 プリテン 渡辺、戸田、平野、久保田

今年もやります YMCA・ワイズフェスティバル

渡 辺 真 悟

昨年の 4 月に YMCA に繋がる様々な 160 名の参加者を得て名古屋市の西端にある「戸田川緑地公園」で、今までにない新しい行事として「YMCA・ワイズフェスティバル、ディキャンプ交流会」を大盛況の内に開催することが出来ました。

当日はリーダートレーニングを兼ねた焚火調理に ちびっ子やリーダー OBOG・ワイズの友人がお手伝い。出来上がった沢山の料理をみんなで美味しくいただき、その後はゲーム大会とキャンプソングの大合唱でお盛り上がりでした。

明るく楽しいイベントで仲間を増やそう

この所コロナの影響で色々な行事の中止が多く、何か良い行事が出来ないか。一方ワイズ PR 会員増強イベントとして 明るく楽しく参加しやすいイベントが出来ないものか。そこで企画されたのがこの YY フェスティバルです。狙いは次の通りでした。

- ・リーダー OB・OG が卒業後も YMCA と繋がっていただける場の提供。
- ・現役リーダーのセミ・リーダートレーニングの機会となる。
- ・YMCA やワイズに何か縁のある人が 楽しみながら参加してもらうことで YMCA やワイズの良さを知ってもらう。

仲間を増やすには継続が大事

このような活動は続けるのが大事だと思います。その意味で昨年秋に日和田の火祭りが復活したのは嬉しいことでした。ありがたいことに今年も多くの方と名古屋 YMCA の賛同を得て開催が決まり、YY フェス・ディキャンプ交流会開催の準備が進んでいます。昨年はちょっとワイズ関係のお友達が少なかったのが反省点として挙げられました。是非多くの人を誘って参加いたしましょう。

2 月クラブ出席		B F		2 月 個 人 出 席								
在 籍	18 名	切手	1928pt	第1	第2	第1	第2	第1	第2	第1	第2	第 1 例 会 ゲスト : 中井信幸さん 東西交流会 2/4 ~ 2/5 : 加藤、川口、河部、川本、相馬、谷川、戸田、西村、平野、深谷 南山クラブ解散記念例会 2/18 : 加藤、川口、川本、久保田、相馬、戸田、中村、西村、平野、深谷、渡辺 B F : 小尾 1008 g 深谷 920 g
第 1 例 会	12 名	2 月	現金 0pt	小 尾	○	塩 田		深 谷	○	R		
メネット	0 名			加 藤	○	R	鈴 木		渡 辺	○	R	
ゲスト・ビジター	1 名	7 ~ 2 月 累 計	小計 1928pt	川 口	M	相 馬	○	R				
第 2 例 会	10 名			河 部	R	谷 川	R	R				
メネット	0 名	切手 1992pt	現金 0pt	川 本	○	R	戸 田	○	R			
ゲスト・ビジター	0 名			鬼 頭	○	R	中 村	○	R			
メーカーキャップ	2 名	合計 1992pt		木 本			西 村	○	R			
出席率	93%			久保田	M	平 野	○	R				

○出席 R リモート出席 M メーカーキャップ

高崎賢一氏 プロフィール



- 1949年名古屋市生まれ。港区在住。
- 障がい者福祉事業所（株）マリンハート 代表取締役社長
- 「災害ボランティアコーディネーターなごや」代表
- 「名古屋みなと災害ボランティアネットワーク」代表。
- 認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード 理事
- なごや災害ボランティア連絡会常任幹事

【これまでの活動等】

- ★ 2002年名古屋市主催の「災害ボランティアコーディネーター養成講座」を受講
- ★ 各地で発生する地震・水害の被災地にて被災者支援活動に尽力（災害ボランティアセンターの設置・運営）
- ★ 愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市等の行政、地域自治会などからの依頼で防災講演会講師を務めている。

■■■ 第1例会レポート ■■■

「私のすてきなところ、あなたの素敵なおところ、再発見！」

2023年ピンクシャツデーアクションとして、ピンクシャツウィーク（2/15-2/22）の始まる前日にクラブ第1例会が開催された。メンバーそれぞれが何かしらピンクの物を身につけてのいで立ちで参集（ZOOM参加者も）し、今年度のピンクシャツデーのテーマについて実行委員より学び、「すてきシート」を用いたワークを行ない、自分の素敵なおところ、相手の素晴らしいところを話し合う時間を持った。

今年度のテーマは「じぶんの素敵なおところ、みんなの素敵なおところ、みつけた!!」。テーマの根拠となる聖書のことばは、「何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多



◎白黒写真でわかりませんが、結構いろいろピンクあります◎

くの罪を覆うからです。不平を言わずにもてなし合いなさい。あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。（1ペトロ4章8節～10節）。

人それぞれ神様からいただいた「賜物」を持っている。その賜物を活かして、互いに愛し合い、もてなし合い、仕え合う。それが「人を大切に思う」こと。その心を世界中の人が持った時、「人を物のように扱う」いじめや争いが消え、YMCAが掲げている「ポジティブネットのある社会」が実現する事を学ぶ時間となった。

大人になった私たちは日頃の生活の中で、自分の素敵なおところや相手の素敵なおところを、思っただけの中々、口に出して言わ（え）ない社会の中にいる。そこで、自分の賜物を再発見するために二人一組になり、まず自分の素敵なおところを相手に話す。次に相手に自分の素敵なおところを教えるもらうワークを実施し、結果を参加者全員に分ち合う時間を持った。敢えて口に出して伝え合う事で、終始微笑みが絶えず、心が暖まる良い時間を共有でき、ピンクシャツデーを人に伝える1週間を過ごすエネルギーをいただくことができた実感している。

（川本龍資）

会計より
会費納入
のお願い

会費は月額7,000円、年額84,000円です。できるだけ6ヶ月分42,000円を7月と1月に納入してくださるようお願いいたします。（3ヶ月ずつ納入される方は7月、10月、1月、4月に納入して下さい）
また中部の理事とキャピネットを支援する為に昨年度決定された3年間限定のリノベーション基金の今期は2年目になります。クラブ会費を納入いただく時に合わせて納入ください。金額は一人年間3,000円です。

ゆうちょ銀行 記号 12120 番号 82306781 なまえ ナゴヤワイズメンズクラブ

■■■ 第 2 例会レポート ■■■

と き：2023 年 2 月 20 日（月）19:00～20:30
ところ：Zoom リモート

1.2022-2023 年度下半期 例会プログラム

	月日	会場	プログラム
2023	3	14 火	YMCA & ZOOM ①高崎賢一氏 (防災について)
		20 月	ZOOM ②役員会
	4	11 火	未定 (拡大例会?) ①大橋洋平氏
		17 月	ZOOM ②役員会
	5	9 火	YMCA & ZOOM ①吉野光汰氏
15 月		ZOOM ②役員会	

- 3 月卓話：「災害ボランティアの視点から見た被災地の現状と防災対策」By 高崎賢一氏
- 4 月例会を拡大例会に発展させることを検討する。
(加藤ワイス、中村ワイス)
- 5 月卓話者 吉野光汰氏への交渉担当：谷川ワイス
- 6 月卓話候補：和田芳子牧師 (社会館チャプレン)
交渉担当：谷川ワイス
- 2. 東西日本区交流会 2023 年 2/4 (土)～2/5 (日)
10 名参加。3 月号にレポート。担当：加藤ワイス
- 3. 名古屋南山ワイズメンズクラブ「50+2 周年記念&解散例会」
2023 年 2 月 18 日 (土) 11 名参加
- 4.2022 年度西日本区次期会長・主査研修会
3 月 11 日 (土) 13:00～3 月 12 日 (日) 12:00
大阪コロナホテル& Zoom
会長：戸田・EMC 主査：渡辺・理事：深谷・事務局長：平野・CS 事業主任：川口・JWF 管理委員長：川本 6 名が出席予定
- 5. 西日本区への献金について
 - ① JWF 献金：75 周年記念として 75,000 円を献金する
 - ②西日本区事業目標
Y サユース 2,000 円/人 CS 1,500 円/人 YES 500 円/人

- TOF 1,000 円/人 FF 500 円/人 EF 各自オンライン
BF 1,500 円/人 RBM 500 円/人
※今年度も 100%の献金を実施する。上記の内 CS 献金・BF 献金についてクラブメンバーより 3,000 献金を要請する。(会計より後日配信予定)
- 6. 第 2 回 Y Y フェスティバル・デイキャンプ交流会
2023 年 4/22 (土) 戸田川緑地公園にて中部主催として開催が決まった
実行委員長：渡辺メン 多くの方のご参加をお願いする。
- 7. 台北ベータと新仁川との IBC 締結の件 (継続審議)
先方 2 クラブにも継続審議中で有る旨を伝え、失礼にならぬ様、南山クラブと再度の確認を実施し クラブ内の審議を継続すること確認した。南山との確認は平野ワイス。
- 8. 会則変更について (平野ワイス)
名古屋クラブ会則について、現状に合致していない箇所を中心に変更する旨の説明が平野ワイスよりあり、3 月プリテン発送時に同封、3 月例会にてクラブメンバーの承認を得る予定。
- 9. YMCA より
 - 3/21 (火) リーダー感謝会 16:00～ 南山ファミリー YMCA にて (2/20 メール配信済み)
 - 3/11 (土) 3.11 東日本大震災犠牲者追悼式 14:30～と 17:30～鶴舞公園 (チラシ配布済)
- 10. その他
 - 鬼頭栄子ワイス:2 月末退会 (下期 2 か月分の会費請求:会計)
 - 中部部会 2023 年 9 月 23 日 (土)「アイリス愛知」
 - 第 26 回西日本区大会 熊本で 2023 年 6 月 9 日 (金)～6 月 11 日 (日) 案内別紙配布する
申込方法は各自実施 (クラブ単位では行わない)。宿も交通機関も各自で手配。
 - プリテンの原稿担当：
4 月号：巻頭言 (川口) 3 月第一例会レポート (戸田)

東西日本区交流会 報告

第 3 回東西日本区交流会が、2023 年 2 月 4~5 日神戸にて開催されました。テーマは「語ろうワイズの未来! ともに手を取り次の 100 年へ」。名古屋クラブからは、10 名の参加、東西日本区創立 25 周年や国際協会創立 100 周年、そして何よりもコロナ禍で分断されたワイズメンが一堂に会する貴重な機会として、参加者が思ったよりも多かったことが特筆されます。総勢約 440 名とお聞きしました。

懇親会では、名古屋クラブ・深谷ワイスゆかりの taco-bow のタイココミュニケーションや久しぶりの再会を喜ぶワイズメンの笑顔が印象に残りました。早天祈祷会の奨励奉

仕は、西村清ワイス。中村哲さんとティーン・リーパーさんのキリスト者として、また YMCA ゆかりの方として、お話しされたメッセージは、参加者の心に響いたことでしょう。分科会はそれぞれに楽しまれたことと思います。私は世界宗教寺院めぐりに参加しました。ホテルからの徒歩と寺院めぐり、大会終了後のプライベートトリップのおかげで、1 日 23,000 歩のエクササイズでした。

コロナ感染発生からはや 3 年、今後のワイズ活動を展望する良い機会となりました。

やっぱりリアルで会い、会食し、語り合うことは、**どえりゃーおもしろーでかんわ!** (加藤 明宏)



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

「わたしの愛する兄弟たち、よくわきまえていなさい。だれでも、聞くに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。人の怒りは神の義が実現しないからです。だからあらゆる汚れやあふれるほどの悪を素直に捨て去り、心に植え付けられた御言葉を受け入れなさい。この御言葉は、あなたがたの魂を救うことができます。御言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、聞くだけで終わる者にはなりません。」

(ヤコブの手紙 1 章 19～21 節)

西 村 清

ヤコブの手紙は、宗教改革を行ったマルティン・ルターによって「藁の書」と呼ばれました。イエス・キリストが生まれ、寝がされた飼葉桶の中に、「藁」しか見えず、肝心の主イエスがいない、という意味です。つまり、「この書物には福音が語られていない」と喝破したのです。たしかに救われるのは「信仰のみ」を信条としたルターにとって、「信仰」と共に「行い」を強調する本書に、違和感を覚えたのだろうと考えられます。

「行い」を殊更に強調するので、この書はユダヤ人キリスト者の手になるもので、律法主義的な傾向をもつと解釈されてきたが、それを母国語とする人の用いる巧みなギリシャ語で記されていて、論旨も表現も極めてわかりやすい、ということから最近この書を巡り、その持つ価値の再評価がなされるようになってきています。

ただ、「信仰か、行いか」との二分法は、あまりにも単純すぎると言わざるをえません。つまり「あれかこれか」

の二分法、二つに一つを強制する思考は、極端であり、人間の生きる現実を軽んじていると言えます。

19 節「聞くのに早く、語るに遅く、怒るに遅いように」、これは普遍的で最も基本的な人間関係論です。これと真逆なのが現代の人間関係、国際関係であるように思います。この聖書の言葉のような、極めてまともな人生態度が、軽蔑されるところが現代の問題でもあります。ただし 20 節の言葉はどきっとさせられます。「人の怒りは神の義を実現しない」と断言されていることです。報復だ、仕返しだ、相手の非礼、無礼な振る舞いに対抗するのは、正当、正しい態度だと評される。ところがこの聖書の言葉は「どのような人の怒りも、神の義とは関わりがない」ときっぱりと「怒り」がはねつけられています。神の義のための怒りの報復などありえない、と紀元 1 世紀にしろされた短い手紙ははっきり語るので。



●●●●●●●●●● YMCA ニュース ●●●●●●●●●●

さくら、むぎ、せんず、みつつ、アクア、トミー。今期は 6 名のユースボランティアが卒業し、次の舞台へと旅立っていきます。名前を聞いてリーダー名だとわかる人は YMCA 初心者、半分の顔が浮かぶ人は中級者、リーダー名と本名がわかる人は上級者となるのでしょうか。スタッフでさえリーダー名と本名がなかなか結び付きません。それほど親しみを込めて呼んでいたリーダーの感謝会が 3

月 21 日午後 4 時から南山で開催されますので、ご都合のつく方はぜひご参加ください。また、南山幼稚園、かみさわ保育園、こひつじ保育室、日本語学院でもそれぞれ卒園式が行われます。(新しくできたかりや YMCA 保育園は、今年は卒園児がいません。) 別れがあるから、新しい出会いがあることに感謝しながら、それぞれの旅立ちを祝いたいと思います。(中村 隆)

プリテン委員より お願い

各号に例会以外の活動報告を掲載しておりますが、全て当委員では把握できておりません。ワイズや YMCA 関係の行事に参加された方はその旨プリテン委員にお知らせください。宜しくお願いします。